

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	35週	34週	第35週		第34週		第35週		第34週		第35週		第34週		第35週		第34週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	7	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	38	4	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1	0
感染性胃腸炎	79	57	17	4	14	4	17	4	13	3	0	0	0	1	0	0	1	0
水痘	4	5	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
手足口病	3	7	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
突発性発疹	47	35	4	0	5	0	3	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ヘルパンギーナ	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
RSウイルス感染症	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

県中地域の状況

流行中  
小流行中

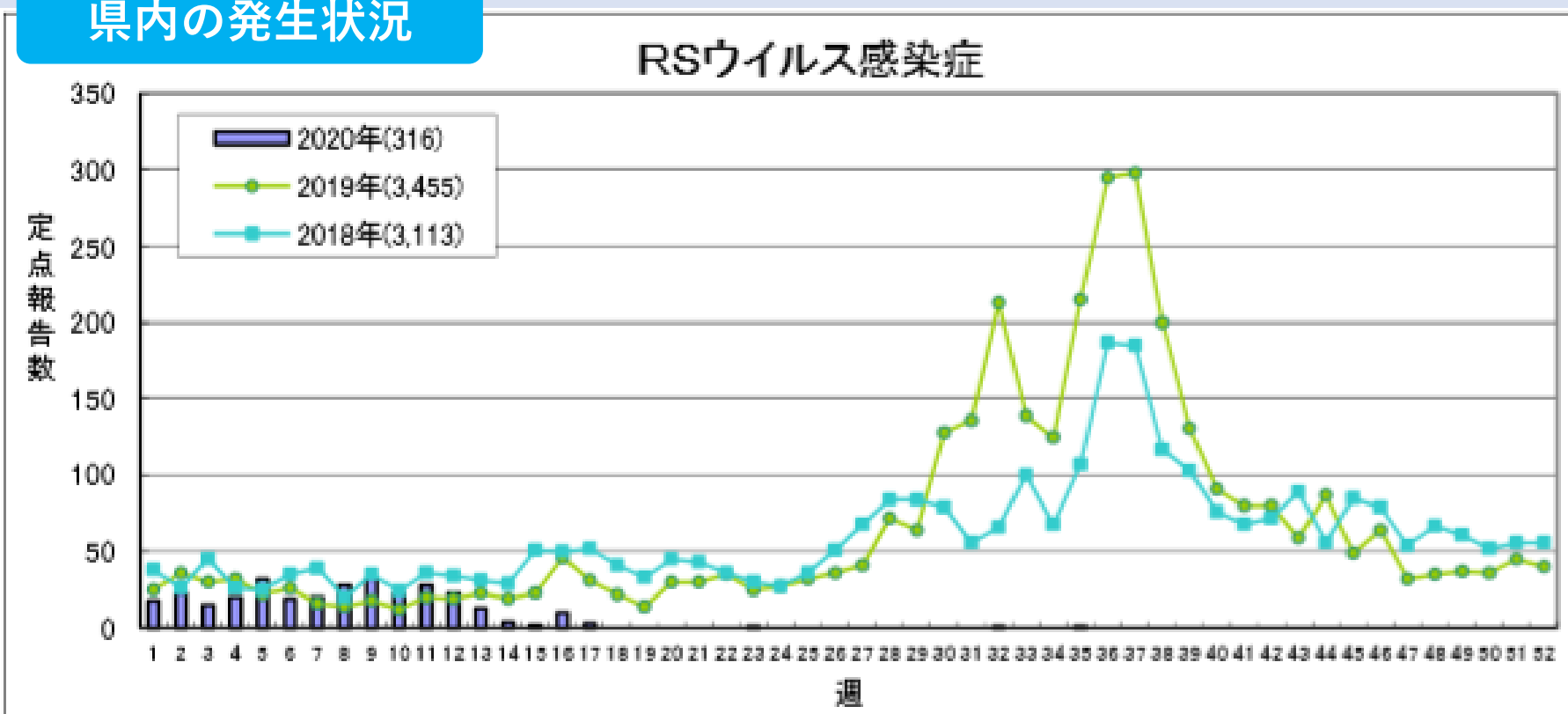
現在、流行している感染症はありません。

現在、小流行している感染症はありません。

RSウイルス感染症とは

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症であり、主な症状は鼻汁・咳・発熱ですが、気管支炎・肺炎などを引き起こすことがあります。発症の中心は0歳児と1歳児ですが、特に生後数週間～数ヶ月の時期に感染すると、重篤な症状を引き起こしやすくなるため注意が必要です。終生免疫は獲得されないため、生涯にわたって感染を繰り返します。年長児や成人における再感染は普遍的に見られますが多くの軽症です。患者の咳やくしゃみによる飛沫感染、手指や器物（ドアノブ、手すり、スイッチ、机、椅子、おもちゃ、コップ等）を介した接触感染により感染します。

県内の発生状況



＜予防のポイント＞

- ①流水・石けんによる手洗い、またはアルコール製剤による手指衛生を励行しましょう。
- ②子供達が日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒しましょう。
- ③咳エチケットを心掛けましょう。



この情報に関するお問い合わせ先：県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

T E L : 0248-75-7818

E-mail : kenchu\_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp